

団体名	赤穂の魅力を広め隊	活動名	高校生が誘致する赤穂の魅力発信モニターツアー
-----	-----------	-----	------------------------

1 活動の実施内容

① 実施場所（地域） 赤穂市内	② 実施期間 自 令和4年 12月 3日 至 令和4年 12月 3日
③ 実施体制 ・団体構成員 10名 ・一般参加者 17名 ・ボランティア 14名 ・ 名 ・ 名 計 41名	
④ 活動実績（実行委員会や準備作業の活動実施等の主な実施日、内容をご記入ください。） <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月3日 当団体の協議により当事業の実施、当補助金の申請を行うことを確認 ・ 6月中旬～下旬 当補助金申請のための準備、審査会に向けて資料作成など ・ 6月25日 審査会参加 ・ 7月22日 赤穂高校にてモニターツアー実施のため、生徒と協議 過去のツアー内容の確認をし、どのような手順・準備が必要だったかを学ぶ ・ 8月29日 赤穂高校にて生徒と協議の上今回のモニターツアーのコンセプトは過去のツアーを踏襲しつつ新しい要素を入れることに決まる ・ 9月26日 赤穂高校にて神戸新聞旅行社スタッフ、観光協会ガイドによる生徒に向けたレクチャーを行いより具体的にモニターツアー実施に必要な知識やお客様との接し方を知ってもらう。 ・ 10月26日 赤穂大石神社、赤穂城跡にて観光協会ガイドによる実地レクチャーを生徒に向けて行う。実際のモニターツアーで立寄る場所でどのような案内が必要かなどを現地でも感じてもらう。 ・ 11月初旬 みなと銀行の会員向けメールマガジンにてツアーの告知を行う。 ・ 11月5日 神戸新聞朝刊（全県版）にツアーの広告を掲載し、募集を開始する。 ・ 12月3日 モニターツアー実施 ・ 1月中旬 関係者にてアンケートの結果の共有、今後に向けての課題などを協議 ・ 2月中旬 赤穂高校と上記の内容の共有、今後に向けての調整など 	

2 活動実施の成果と今後の課題

① 活動実施の成果

まずは、主役である赤穂高校生が当事業の実施（ツアーの企画、当日の運営など）を通じて自分たちの街である赤穂市について非常によく学び、今まで気づかなかった当市の魅力を改めて知ることができました。そして、さらにモニターツアーのお客様にその魅力を伝えるための努力や工夫も怠りませんでした。

モニターツアーに参加されたお客様の視点から見ると、地元の高校生が一生懸命自分たちの街の魅力を伝えようとする姿に感動したとの声をたくさん頂戴しました。

このように、地元高校生と市外から来られたツアーの参加者の両方の側面において赤穂市の新たな魅力を知る、赤穂市を好きになるきっかけになったと思われま

② 今後の課題

すでに当事業は3回実施を終え、世間の認知度も上がっているかと思えます。今後の課題としては飽きられないような工夫が必要となると考えます。ツアー内容はもちろん、発信する媒体もより時代に即したものを利用していくべきだと考えます。今回みなと銀行のメールマガジンおよびSNSで発信したところ上々の反応が得られました。今後はより積極的にデジタル媒体での発信をしつつ、幅広い年代の方に当事業を周知できる方法を検討したいと思います。

3 実施活動の写真

	<p><u>昼食場所のカキ小屋にて</u> <u>生徒によるカキ洗浄の実</u> <u>演。赤穂の特産物である</u> <u>カキに関するクイズなど</u> <u>もありお客様も大盛り上</u> <u>がりでした。</u></p>
	<p><u>バスの移動中も飽きさせ</u> <u>ない工夫がありました。</u> <u>赤穂市出身の有名人や赤</u> <u>弁クイズ。正解者には景品</u> <u>も用意してくれていまし</u> <u>た。</u></p>
	<p><u>ツアーの最後には大石神</u> <u>社と赤穂城跡の案内。</u> <u>ガイドさんから受けたレ</u> <u>クチャーと自分たちで調</u> <u>べた内容を分かりやすく</u> <u>伝えてくれました</u></p>

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
(ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)